



岐阜陸上競技協会広報

第5号

平成29年8月1日発行

一般財団法人 岐阜陸上競技協会

事務所／〒502-0841 岐阜市学園町3-49 仁科ハイツA102

TEL(058)294-6494 FAX(058)294-6491

E-mail gifurik-jim@rhythm.ocn.ne.jp



「会長就任にあたり」

会長 尾藤 義昭

2017年度の役員改選で会長に就任することとなりました。岐阜陸上競技協会は県下のスポーツ競技団体の中でも大きな組織を有する団体の一つであり、その使命は陸上競技の推進のみにとどまらず、本県のスポーツ振興と発展に関わる重責を担っています。その使命に向かって微力ではありますが協会員の協力のもと、本県の陸上競技発展、向上に努めたいと思います。

さて、岐阜陸上競技協会の活動は、他の競技団体に比べ年間を通して大会数も多くその準備と運営に膨大な時間と人力を要します。協会員の陸上競技へのひたむきな努力と情熱、そして参加選手を大切にする奉仕の信念に支えられての運営には深く敬意を表すとともに心より感謝申し上げます。2020年東京オリンピックの開催が決定されてから、国民のスポーツへの関心は年々高まり特に陸上競技は国内大会から世界大会を意識して活躍する選手が増えました。昨年は、リオオリンピックが開催されその傾向が加速したと思われます。本年8月にロンドンで開催される世界陸上競技選手権大会での日本人選手の活躍が期待されるところです。

本県でも2018年6月に日本で初めてとなるアジアジュニア陸上競技選手権大会を開催いたします。アジアを代表するジュニア選手の実力を感じ取ることができる絶好の機会だと思います。岐阜県から世界へ羽ばたく選手の誕生のきっかけになるのではないかと思うと開催がとても楽しみです。岐阜陸上競技協会としても大会の成功に向けて日本陸連・岐阜県とともに万全を尽くして大会運営にあたりたいと考えています。

良い競技会とは、参加選手が気持よく競技できるように環境を整備することだと思います。その為には、競技規則に従って公平公正な審判をするなかにあっても常に選手の目線に立つことが大切です。審判役員の言動が大会の雰囲気を作ります。選手が安心と信頼をもって競技できるにはどのようにしたらよいかを協会員の共通認識として作り上げることが大切なことだと思います。2017年度の岐阜県選手の活躍に期待を込めご挨拶と致します。



「～2017開幕～」

専務理事 黄倉 寿雄

2017年も例年のように4月2日の普及記録会をかわきりに始動しました。普及記録会とはいえば県内外から参加した選手たちの意欲も例年にも増して高く感じられ今年もまた期待が膨らむスタートとなりました。

昨シーズンは、岐阜陸上競技協会70周年記念式典、リオ五輪、ぎふ清流ハーフマラソンがゴールドラベルに昇格、ぎふ清流都市対抗駅伝がCCN系列でTV放映化（録画中継含む）など大きな収穫を得たシーズンでもありました。これもひとえに協会の役員審判をはじめ関係者皆様のご尽力とご協力の賜と心より深く感謝申し上げます。本年度も本協会の開催事業にご支援ご協力をお願いいたします。

2017年度は役員改選年にあたり、新会長に尾藤義昭氏をお迎えしスタートすることになりました。昨年度を一言で表せば「通過点としてまとめの一年」であったと思います。対して本年は、2018年に岐阜で開催されるアジアジュニア陸上競技選手権（日本初）の準備。高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンのゴールドラベルにふさわしい大会運営、昨年から始まった普及強化を目的とした小学生の登録制度と岐阜県小学生陸上競技選手権大会の充実、日本ID陸上競技選手権大会の運営協力など今までの実績を基盤として新しい試みに「心機一軒スタートする一年」になるのではないかと思います。

昨年度、理事会で創案されたスポンサー協賛制度を2017年から実施いたします。本協会の運営の効率化にとって必要な施策と考えています。その為に、本年からは本協会及び本協会の加盟団体の競技会に出場する選手は、当協会の認可する協賛企業名入りのナンバーカードを利用していただくこととしました。協会員をはじめ選手の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

最後になりましたが、今年も、日本選手権をはじめ全国中学、全国高校、全国大学選手において本県の選手が昨年以上に活躍されることを期待しています。

専門委員会報告

総務委員会

【所信表明】

今年度より総務委員長を任務します内田と申します。初めてのことが多く、前藤村委員長から丁寧に引継ぎをして頂きましたが、実際にやってみないとわからない為、皆様方にはご迷惑をお掛けすることと思いますが、専務理事を初め多くの先輩方からご指導・ご助言をいただきながら精一杯務める所存です。どうぞよろしくお願ひします。

【抱負】

今年度より、岐阜陸上競技協会登録者は、スポンサー名の記載されたナンバーカードを使用することになりました。4月より何回かの大会を開催しましたが、一般・学連・高体連・中体連・小学生団体等の協力をいただき、大きなトラブルもなく実施に至っています。今年度徹底して行い、企業側からコマーシャル効果が大きいと評価されれば、来年度は数社からの競合となり、契約料金の引き上げにつながる期待が持てます。

審判のボロシャツ・キャップに関して、服装の統一された大会運営ができるように整備していくたいと思います。大会が連日となるような場合にも対応できるように、継続販売ができるようにしていきます。

今年で7回目を迎える国際陸連よりゴールドラベルをいただいた「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」は、4月23日に例年より3週間早い日程で開催され、盛大に終了することができました。来年は、細かな修正点を改善し、よりレベルの高い運営をめざします。この経験を活かし、来年度のアジアジュニア陸上競技大会に向け、国際レベルの大会運営ができるように運営体制を向上していきます。

平成29年度 総務委員会 事業計画

1.理事会・評議員会

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
5月28日	日	第1回理事会	午前午後でもOK	長良川競技場 会議室
6月10日	土	定例評議員会	未定	長良川競技場 会議室
8月12日	土	第2回理事会	午前	未定
12月9日	土	第3回理事会	午後	未定
3月3日	土	第4回理事会	午後	未定

2.委員長会議(必要に応じて開催)

3.栄章関係

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
11月初旬		栄章候補提出依頼		
12月9日	土	栄章審査会	午後	
2月中旬	日	受章者案内発送		
3月3日	土	栄章表彰	審判講習会の前	
		栄章受章者集合写真撮影	…業者に依頼	未定

4.競技会要覧関係

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
12月16日	土	第1回競技会要覧会議	13:30~	未定
1月27日	土	第2回競技会要覧会議 2回から3回校正	午前	未定
3月初旬	土	配布・販売開始		

5.その他の主な会議

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
3月26日	日	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン会議	9:30~11:30	長良川競技場・会議室
4月16日	日	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン会議	9:30~10:30	長良川競技場・会議室
10月14日	土	清流都市対抗駅伝主任者会議 監督会議開会式	午前 午後	未定

(委員長 内田 匡俊)

財務委員会

【財務委員会の取り組み】

1941年(76年前)、岐阜県総合運動場ができ、その後、県営岐阜陸上競技場が開場し、1991年には、メモリアルセンター長良川競技場がオープン。その間、1965年(第20回)、2012年(第67回)の国民体育大会を経て現在に至るまで、先人の方々が岐阜の陸上競技を支えてこられました。昨年、70周年を迎え、更に歴史の重みを痛感させられました。

ほぼ四半世紀ごとに競技場が生まれ変わる中、岐阜陸協としての備品機材も老朽化を迎え、80周年、90周年に向けて、何かと準備していくねばならない時期となっていました。

今年度からは、(株)ヒマラヤ様のご支援により、ナンバーカード広告による華やかさを増し、応援する側にも新鮮さを感じ、選手はワンランク上の高水準を感じて競技に専念しています。

今後も、魅力ある事業展開を心掛け、普及との連携により、小学生から一般まで競技会への幅広い参加に向け、競技環境を拡充していくよう岐阜の陸上競技の発展に繋げていくことを目指していきます。今後とも、バナー広告、プログラム広告も含め、ご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。



(委員長 奈波 宏和)

審判委員会

【2017年度のスタートにあたって】

1.はじめに

2017年度も例年同様順調にスタートができたと思います。今年度は大きなルール改正もありませんので、審判活動には大きな混乱はないと思います。審判員も人事異動等の関係で多少の入れ替えはあったものの同じような顔ぶれで、連携も取れており、さすが岐阜陸上競技協会だと思います。

2.審判委員会の組織と活動

正村菊男(岐阜地区)馬場保(西濃地区)上野悟一郎(中濃地区)山内孝次(東濃地区)桑原宏之(飛騨地区)郷直人(高体連)宇佐見成司(中体連)を中心に各大会の審判編成を行うだけでなく、審判育成を行なっています。

今年度も例年と同様に毎週のように県内各地で競技会が行われます。審判委員会としては、公認大会にふさわしい役員編成を心がけます。できる限り早めに編成を行い、審判依頼を出せるように準備をしていきます。審判依頼が届きましたら、競技会審判をよろしくお願ひします。

3.今年度のルール修改正と競技運営上の変更及び改良点

2017年度は大きな修改正はありません。しかし、審判行動においてこれまでと少し変更があります。

① トラックレースでのスタートのやり直しにおける対処手順

不正スタートでない場合、出発係はやり直しに関わった競技者にグリーンカードを提示しながら、口頭注意をした後、全体にグリーンカードを提示していました。これを、該当選手にはグリーンカードを提示しないで口頭で注意をした後、全体にグリーンカードを提示することにします。この時、アナウンスで会場にできる限り状況を伝えるようお願いします。

② やり投における着地側(痕跡)旗なし行動

これまでやり投において、投てき側だけでなく着地側にも痕跡確認の旗を使用していましたが、今後は着地側の旗を使用しません。着地側からは旗を使用するのではなく、何らかの合図で投てき判定員に伝え、投てき判定員は最終的に有効であったかどうかの旗を挙げることになります。これは、国際競技会に合わせていく日本陸連からの要望もあります。

③ 跳躍競技者のナンバーカードについて

現在国内では跳躍競技者のナンバーカードは胸または背に付けていればよいことになっています。

走高跳、棒高跳は胸背どちらかがあれば、国際大会でも認められています。しかし、走幅跳・三段跳のように長さを競う種目では、国内のみに適用されています。ということは、日本記録としては認められますが、世界記録としては認められません。また、審判員から選手確認のために胸背の両側に付けてほしいとの要望もあります。のことから日本陸連では、長さを競う種目においては胸背の両側に付けていくことを検討しています。(2017年度は片側のみでも構いません。)

4.アジアジュニア開催に向けて

2018年6月7日(木)～10日(日)の4日間長良川競技場にて第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会の開催が決定しています。この大会は国際大会になりますので、TD・ITOをはじめ、国際スターターや国際写真判定員などの国際審判員、日本陸連から多くの審判員が来ることになっています。(2020東京オリンピック、パラリンピックに向けての研修も兼ねています。)

世界や日本陸連の方達と共に審判活動を行う中で、岐阜陸上競技協会の審判の力を見せていましょう。今後日本陸連の指導と援助を受け準備に入る予定です。競技日程や役員編成などは、分かり次第お知らせしていきます。

(委員長 脇田 篤実)

競技委員会

2017年度の陸上競技会が開始され、例年よりも多くの競技者に参加していただいている。特に昨年度から小学生、中学生の競技者のみなさんを対象とした種目や競技会を増やせるよう競技委員会として努力しています。

日頃、練習で培った力や技術を發揮し、さらなる成長のきっかけとなるような競技会が計画できるようにと考えています。

また、強化委員会や普及委員会と連携し、競技レベルのアップに繋がるような競技会の運営計画を心がけています。国体をはじめ、全国高校総体や全国中学、全国小学生・小学生クロカンなどの全国レベル競技会で、岐阜県の選手が戸惑い無く、実力どおりの力を出し活躍できる基盤となる様に岐阜陸協主催競技会の質の高さにこだわっていきたいと思います。

平成29(2017)年度主要競技会日程

月	日	曜	日本陸連等	中部・東海	岐阜陸協他	高体連 中学生のみ中体連	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	日	曜	月
4月	1 土	金栗記念選抜中・長距離 (県民総合(株))										1 土		
	2 日				普及記録会 長良川・補助							2 日		
	9 日				春季記録会 星ヶ台 長良川							9 日		
	15 土				滝田記念・春季陸上 長良川							15 土		
	16 日	日本選手権50km競歩 石川 長野マラソン 長野										16 日		
	22 土	出雲陸上 浜山(島根)										22 土		
	23 日	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン 兵庫リレーカーニバル 三井記念(兵庫)			岐阜							23 日		
	29 土	織田記念陸上 広域公園(広島)			スポーツカーニバル※FC18:00 (長良川・補助)							春季講習会 (中山)	29 土	

5月	3 水	静岡国際陸上	エコバ(静岡)					高校総体地区予選(浅中)	高校総体地区予選(中池)	高校総体地区予選(中津川)	春季記録会兼 高校総体地区予選 (中山)	3 水	5月
	4 木											4 木	
	5 金	水戸招待陸上	ひき戸(茨城)					高校総体地区予選 (長良川)				5 金	
	6 土	ゴールデンゲームズinのべおか 岐阜(高崎)									春季講習会(中山)	6 土	
	7 日											7 日	
	13 土			中部実業団対抗陸上	長良川						地区ショーコ記録会 (星ヶ台)	13 土	
	14 日	仙台国際ハーフ	宮城									14 日	
	19 金											19 金	
	20 土											20 土	
	21 日	ゴールデングランプリ	等々力(神奈川)									21 日	
	27 土											27 土	
6月	3 土										東濃地区記録会 (中津川)	3 土	6月
	4 日											4 日	
	9 金	日本学生個人	平塚(神奈川)									9 金	
	10 土	日本選手権混成 U20日本選手権混成	長野市営 (長野)									10 土	
	11 日											11 日	
	16 金											16 金	
	17 土											17 土	
	18 日											18 日	
	23 金											23 金	
	24 土	日本選手権	アーチャーフィール表演 (大阪)									24 土	
7月	25 日											25 日	7月
	1 土											1 土	
	2 日											2 日	
	8 土											8 土	
	9 日	南部記念陸上	厚別 (北海道)									9 日	
	15 土											15 土	
	16 日											16 日	
	22 土	実業団・学生対抗	平塚(神奈川)									22 土	
	23 日											23 日	
	30 日											30 日	
8月	31 月	全国高校陸上	天童 (山形)									31 月	8月
	1 火											1 火	
	2 水											2 水	
	4 金											4 金	
	5 土											5 土	
	6 日											6 日	
	7 月											7 月	
	10 木											10 木	
	11 金	全国定通制高校陸上	駒沢 (東京)									11 金	
	12 土	戴王坊平クロスカントリー	上山(山形)									12 土	
9月	13 日											13 日	9月
	19 土	全国小学生陸上	日産Jr's Cup(神奈川)									19 土	
	20 日	全国中学陸上	熊本総合 (熊本)									20 日	
	21 月											21 月	
	22 火											22 火	
	26 土	全国高校陸上 /全国高校陸上選抜	松本(長野) アーチャーフィール 等々力(大阪)									26 土	
	27 日											27 日	
10月	2 土											2 土	10月
	3 日											3 日	
	8 金											8 金	
	9 土	日本学生対校	福井(福井)									9 土	
	10 日											10 日	
	16 土											16 土	
	17 日											17 日	
	22 金											22 金	
	23 土	全日本実業団	アーチャーフィール表演 (大阪)									23 土	
	24 日											24 日	
11月	30 土											30 土	11月
	1 日											1 日	
	6 金											6 金	
	7 土	国民体育大会	松山 (愛媛)									7 土	
	8 日											8 日	
	9 月											9 月	
	10 火											10 火	
	14 土											14 土	
	15 日											15 日	
	20 金											20 金	
11月	21 土											21 土	11月
	22 日	全日本50km競歩高崎	山形									22 日	
	27 金	日本選手権リレー ジュニアアーチャー (神奈川)/ 第三三井寺和歌山	日産マジック (神奈川)/ 第三三井寺和歌山									27 金	
	28 土	国際・全日本マスター	東海高校新人(三重)									28 土	
	29 日	全日本大学女子駅伝	宮城									29 日	
11月	3 金											3 金	11月
	5 日	全日本大学駅伝	栄知・三重									5 日	
	11 土	さいたま国際マラソン	埼玉									11 土	
	12 日	東日本女子駅伝	福島									12 日	

11月	19日	神戸マラソン	兵庫		中山道・岐阜駅伝	中津川～多治見				飛驒駅伝(下呂)	19日	11月
	23木									高山市民健康マラソン(中山)	23木	
	26日	全日本実業団女子駅伝 大阪マラソン	宮城 大阪	東海高校駅伝 松阪(三重)	ムーミンレース・イースマラソン	岐阜市			ほらどわいマラソン(洞戸)	益田駅伝(萩原)	26日	
12月	2土				長距離記録会	中津川					2土	12月
	3日	福岡国際マラソン	福岡								3日	
	9土						地区高校駅伝(長良川河川管理道路)				9土	
	10日	小学生クロカントリー 長崎陸協競歩	博多(福岡大野)	県立総合(長崎)				大垣マラソン		地区高校駅伝(恵那市)	10日	
	16土	全日本びわ湖クロスカントリー 希望ヶ丘(滋賀)									16土	
	17日	全国中学駅伝 防府競歩マラソン	希望ヶ丘(滋賀)	山口							17日	
1月	23土	山陽女子ロードレース	岡山								23土	1月
	24日	全国高校駅伝	京都								24日	
	30土	全日本大学女子選抜駅伝	静岡								30土	
	1月	元旦競歩	東京								1月	
		全日本実業団駅伝	群馬									
	3水										3水	
2月	8月						新春マラソン(長良川補助)				7日	2月
	14日	都道府県対抗女子駅伝	京都								14日	
	21日	都道府県対抗男子駅伝	広島						東濃ロードレース(多治見市TYK)		21日	
	27土	大阪国際女子マラソン	大阪								27土	
	28日	大阪ハーフマラソン	大阪								28日	
	3土	U20日本室内大阪	大阪城ホール(大阪)								3土	
3月	4日	別大マラソン	大分						中濃駅伝(中池)		4日	3月
	11日	香川丸亀国際ハーフマラソン	香川								11日	
	18日	鹿津10マイル 実業団ハーフマラソン	佐賀								18日	
	25日	日本選手権男女20km競歩	兵庫								25日	
		全国中学生クロスカントリー 青梅マラソン	東京									
		京都マラソン	京都									
		熊本城マラソン	熊本									
		東京マラソン	東京									
		日本選手権クロスカントリー U20日本選手権クロスカントリー	新潟(三条・南魚沼)									
		日本選手権クロスカントリー U20日本選手権クロスカントリー	新潟(三条・南魚沼)									
		びわ湖毎日マラソン	滋賀									
		日本学生ハーフマラソン	東京									

(国際競技大会) 5月19日(金)～22日(月)
6月1日(木)～4日(日)
7月12日(水)～16日(日)

アジアユース陸上競技選手権
アジア陸上競技選手権
U18世界陸上競技選手権

バンコク(タイ)
ランチー(インド)
ナイロビ(ケニア)

8月4日(金)～13日(日)
8月23日(水)～28日(月)

世界陸上競技選手権
ユニバーシアード

ロンドン(イギリス)
台北(チャイニーズ・タペイ)

(委員長 川瀬 巧)

強化委員会

【強化委員長を務めるにあたり】

皆さまこんにちは。今年より強化委員長を拝命いたしました、岐阜経済大学陸上競技部監督の品田直宏です。大学の指導者が県の強化に携わるというのは、全国的に見ても珍しいことだと思います。また、強化スタッフの平均年齢が30代前半と、全国で最も若いのではないかでしょうか。しかし、だからこそできることがあると思います。岐阜経済大学には、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から選手が集まっています。自身が選手として、また指導者として築いた人脈を活かし、他府県との合同合宿や強化練習会を行っていきたいと考えております。選手の交流の幅を広げると共に、指導者にとっても他府県の優秀な指導者から学びを得る機会となるのではないかでしょうか。指導者が学び続けない限り、選手の成長も終わってしまいます。強化として選手の育成は勿論のこと、指導者を育成する機会も合わせて設けていきたいと考えております。『井の中の蛙大海を知らず』とならないよう、選手も指導者も視点を広げる必要があると思います。

また、スタッフの年齢が若く経験がないからこそ、中学・高校・大学と各カテゴリの指導者が連携を取り、世代間を超えて一貫

した指導体制を構築することが重要であると考えます。私の考える一貫した指導というのは、基礎の徹底を意味します。各カテゴリーで求められる特性は異なりますが、基礎となる部分は一緒です。動きの基礎となるトレーニングを各世代で徹底し、中学、高校のそれぞれ3年間ではなく、6年計画で選手を育成していくような指導システムを構築していきたいと考えております。その為には、各カテゴリーの指導者が連携を取り、強化スタッフ全体で長い目で見て選手を育成していくことが必要だと考えます。その為には、強化練習会や合宿を通じて、指導者が指導ポイントの共通認識を持つことが必要なではないでしょうか。

また、普及と強化の観点から、クラブ指導にも力を入れていきたいと思います。2013年より、体育協会主催の岐阜メモリアルセンタートップアスリートクラブの指導者を務めております。普及の一環として、小学5年生～中学生を対象とした陸上クラブとしてスタートし、当初は数名程度の小さなクラブでありましたが、現在では50名を超える大所帯となりました。全日中やインターハイに出場し、岐阜を代表する選手として活躍しているクラブの卒業生もいます。普及を目的として始まり、強化にも繋がった一事例ではないでしょうか。岐阜経済大学でも、2014

年よりアスリート育成クラブがスタートし、順調に会員数も増加しています。競技人口を増やすことが直接強化に繋がることにはなりませんが、優秀な人材発掘の為には必要なことだと思います。

大きな目標を立てることも必要ですが、まずは現状を把握し、しっかりと土台を構築していく必要があると思います。強化のシステムそのものを見直し、普及と強化を結びつけ、岐阜を陸上強豪県と言われるよう、強化の為に尽力を尽くしていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。



岐阜メモリアルセンター・トップアスリートクラブでの様子
(委員長 品田 直宏)

普及委員会

本年度より、普及委員長を務めさせて頂くことになりました岸栄二です。現在美濃加茂市立東中学校に勤務しています。どうぞよろしくお願ひします。

私は、平成11年から可茂地区の普及委員として活動していました。当初は、可茂地区の練習会に参加する中学生が少なく、また指導者も陸上競技経験者がほとんどいない状態でした。それでも活動を続けていくことで、選手の競技力は少しずつ向上していました。また、指導者の交流が深まることで、指導者同士が力を合わせて地区のレベルを上げていこうとする意識が高まり、地区の選手を自分のチームの選手と同じように指導することで、地区の選手の力が向上していました。

現在、普及委員会は、岐阜、西濃、東濃、飛騨、美濃、可茂の6つの地区に分かれて活動をしています。それぞれの地区で、チームに関係なく指導を行うことで、地区全体の力を上げようとしています。これが、岐阜県全体の競技力向上につながっていると考えています。その結果が、全国小学生クロスカントリーリレー研修大会や全国小学生陸上競技交流大会、あるいは全日本中学校陸上競技選手権大会での好成績につながっていると考えています。

また、先日行われた第2回岐阜県小学生陸上競技選手権大会には、大小合わせて47団体が参加しました。このように多くの団体が参加するようになったのも、各地区で行っている普及委員会の活動の成果であると考えています。陸上の大会に参加してみたいと考えている小学生や学校に陸上競技部がない中学生が陸上競技に接したり、大会に参加したりすることができるよう、練習会や競技会を運営していきたいと考えています。

(委員長 岸 栄二)

駅伝・道路競技委員会

【第9回ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会開催に向けて】

県内各地域(郡市等)相互の交流の促進・スポーツに対する県民意識の向上を図るとともに、国体選手や長距離選手の発掘・育成及び全国都道府県対抗駅伝等の選手強化を目的として開催している、ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会を本年度も10月15日(日)に開催予定ですが、30郡市すべてのチームの参加を求めるために区間の一部を見直し、9区間から10区間に変更し開催に向けて現在準備中です。

★変更点

高校女子、一般女子で全体距離の1/3を占めたため
(高校女子の走力で決まってしまうため)、
9区間に10区間にし
1区高校女子(5.5Km)を分け、
1区高校女子(3.4Km)、2区中学女子(2.1Km)としました。

区間	内容	距離
第1区(高校女子)	岐阜県庁～ジーバックス	3.4Km
第2区(中学女子)	ジーバックス～株カネヒロ前	2.1Km
第3区(小学女子)	株カネヒロ前～小熊コミュニティーセンター	1.5Km
第4区(中学女子)	小熊コミュニティーセンター～不二羽島文化センター西	2.2Km
第5区(40以上)	不二羽島文化センター西～小熊コミュニティーセンター	2.2Km
第6区(小学男子)	小熊コミュニティーセンター～聖徳学園大前	1.6Km
第7区(高校男子)	聖徳学園大前～岐阜県庁	5.4Km
第8区(一高男子)	岐阜県庁～(株)カネヒロ前	5.5Km
第9区(中学男子)	(株)カネヒロ前～小熊コミュニティーセンター～聖徳学園大前	3.1Km
第10区(一高女子)	聖徳学園大前～岐阜県庁	5.4Km

★イベント

☆本年度も、大会当日県庁周辺で、屋台村・レクリエーションコーナー・グラウンドゴルフ体験交流イベントなど予定されています。

☆テレビ中継、大型モニターによるパブリックビューイングが実施されます。

★お願い

各地区より、走路員・自主整理員に協力して頂いていますが、当日欠席があり、補充も無く、警察署に提出している計画書と違っています。警察署は計画書を確認するので、欠員の個所があれば当然指摘されます。

主催者としては、何も返事が出来ず、謝罪するしかありませんので、指導が厳しくなります。大会開催には管轄警察署の指導が大変厳しいことを認識していただき協力をお願いします。

(委員長 馬場 保)

記録・情報処理委員会

【初めに】

2017年度がスタートしました。また、新たな2年間の任期を与えていただいたことに感謝の気持ちを持ちながら、岐阜県の陸上競技界に貢献できたらと思います。この2年間で蓄積してきたノウハウを生かして、さらにより良い競技会運営ができるように全審判員が一丸となって取り組めるようにサポートしていきたいと思っています。

記録・情報処理委員会は、若手が多く活躍できる部署ですが、先輩方からのアドバイスを必要とする場合も多々あります。先輩方に甘えてばかりではなく、若手にもいろいろな立場を経験してもらいたい、様々な視点からの確かな判断ができる人材を育成していくたいと思っています。うまく世代交代を進めながら良いところは引継ぎ、課題を改善しながら、来年度のアジアジュニア選手権で一定の成果が出せるように準備を進めていきます。

審判員の皆さん、お忙しいところお世話になります。また2年間ご協力をお願いいたします。

【本年度の課題と目標】

①記録の公認申請100%

- ・競技会終了後30日以内の申請を徹底
- ・地区陸協にも責任を分担し、電子申請の競技会を増やす

②70年分の記録整理

- ・岐阜陸協過去70年の記録をPDFデータ化

③ホームページを活用した新しい情報提供サービスの開始

- ・年度途中でのランキング発表。
- (IH県予選前、県選手権前など)

④地区レベルでの情報機器活用促進・人材育成

- ・競技会運営研修、事前準備・公認申請データ作成研修
(委員長 山下 和行)

施設用器具委員会

岐阜陸協の競技役員の一員として30年あまり従事してきましたが、初めて『施設用器具委員長』を拝命しました。長年携わられた石原好之常務理事、前任者の松田哲明検定員の指導を仰ぎながら業務を遂行する所存です。

平成29年度は、10月14日に公認が切れる恵那市の恵那峡ハーフマラソンコースの継続と、新規で山県市が10Kmの山県市ロードレース(仮称)10Kmの検定が予定されています。

施設用器具委員会の今年度の目標として、大きい器具・用具類は別としても、小さい用具類(例えば監察マーク等)とか、精密器具類のコードの収納状況等、朝の準備時に「何をいくつ出したか」、競技終了後「開始時に出した器具・用具類を何個返納したか」、「精密機器類のコード等も朝と同じ状態で収納したか」等を確認することを徹底できれば良いと思います。一日中の審判業務で疲れていることが多いですが、全員で協力すれば短時間で終了できると思います。今年度中、いや来年度を含めた1期2年かけて改革・改善していきたいと思います。

皆様方のご協力を宜しくお願いします。

(委員長 杉山 美生)

女性委員会

【平成29年度の活動方針・計画】

本年度の目標…託児室の充実と女性審判員の増員を図る

(1)託児室の開設

岐阜県登録者(審判・競技者、男女共)の小学生未満の幼児を対象。

平成29年度 託児室開設予定競技会 (6競技会10回、長良川競技場のみ)

①	4月29日	土	ぎふスポーツカーニバル
②	5月13・14日	土・日	中部実業団対抗陸上
③	6月24日	土	岐阜県選手権
	7月1・2日	土・日	〃
④	8月7日	月	強化記録会
⑤	8月26・27日	土・日	東海選手権
⑥	11月3日	金・祝	秋季記録会

(2)女性委員会開催

女性審判員の増員、養成の広報活動、女性競技者の支援

女性委員会の平成29年度の活動としましては、上記2点を中心に活動を進めていきたいと考えています。平成25年度に託児室を開室し、今年度で5年目になります。毎年託児依頼が増えています。本年度もさらに託児室開設の充実を図りたいと考えています。子どもたちはここで友達となり、毎回仲良く遊んでいます。子どもたちは外遊びが大好きです。そこで今年度は保育士さんや学生ボランティアの協力も得て子どもたちと陸上競技につながる遊びも入れていこうと考えています。まだ利用はありませんが、競技者の方からの託児依頼にも答えると考えています。

その他の事業として女性審判員の増員も図りたいと考えています。



(委員長 浅野 美津子)

医事委員会

【平成29年度 医事委員会の取り組み】

委員会が立ち上がり3年目となりました。組織を固め着実に活動していくと考えています。

平成29年3月に実施された「第25回日本陸上競技連盟トレーナーセミナー」に3名が参加し、修了者に認定されました。今回の3名を含めて12名が修了者となりました。今後、研修の成果を生かし大会や合宿などで活動していく予定です。同時に、トレーナーとして従事する仲間が増えたことを嬉しく思っています。4月には、本連盟主催大会について看護師派遣を岐阜県スポーツドクターの競技会派遣を行いました。主要活動である「トレーナールーム」開設及び「スタジアム救護」活動は、7月の岐阜県陸上競技選手権大会と8月の東海陸上競技選手権大会を予定しています。さらに、10月の愛媛国体へのトレーナー派遣、「第26回日本陸上競技連盟トレーナーセミナー」への参加などの事業を計画しています。

課題であった、ぎふ清流ハーフマラソンにおける活動については、救護車の救護備品の準備を行いました。来年度は、救護体制との関わりを検討していきたいと考えています。

今年度も「医事委員会」の活動をご理解いただくとともに、あらゆるご支援とご協力をよろしくお願いします。

(委員長 河島 正弘)

広報委員会

【はじめに】

新たな委員会として発足し、広報委員会は3年目を迎えます。これも各委員会、各地区陸協、事務局、関係団体の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しております。広報誌発刊を通じ(一財)岐阜陸上競技協会の取り組みと成果を会員の皆様と関係団体の方々にお伝えする活動に取り組んでいます。又、本年度より(一財)岐阜陸上競技協会HPに広報誌掲載することとなりました。このことにより随時、本協会の取り組みを閲覧頂くことができるようになります。広報誌を通じ、本協会の活動への更なるご理解とご協力が頂ければと思います。委員会として今後も活動の充実に努めてまいりますので宜しくお願い致します。

組織図

事務局		地区陸協編集委員	
委員長	木下 克己	岐阜	河野 康彦
副委員長	原 清隆	東濃	江崎 尚
		西濃	土屋 雅敏
編集委員	山田 緑 河野 康彦(※兼務)	中濃	渡邊 宗治
		飛騨	坂谷 幸紀

1.事業計画

- (1)広報誌5号発刊(前期号)
- (2)広報誌6号発刊(後期号)
- (3)岐阜陸協HPへの広報の掲載
- (4)その他
 - ・秋季増刊号発刊の検討
 - ・HP掲載に伴う発刊部数の検討

3.活動予定

4月中旬～下旬	広報委員会・発送業務4号発送・配布 広報委員会・編集会議 5号原稿依頼発送
5月中旬～下旬	校正会議(1～3回)5号入稿
6月下旬	5号発送・配布準備
7月初旬	5号発送・配布 広報委員会・5号総括
8月上旬～下旬	広報委員会・秋季増刊号検討
11月上旬	広報委員会・中間総括(各委員データ配信確認)
1月中旬	広報委員会総括会議・6号企画会議
2月初旬	原稿依頼発送
3月初旬	広報委員会・原稿一次校正
3月中旬	広報委員会・初稿校正
3月下旬	広報委員会・二次校正・入稿
4月中旬	広報委員会・6号発刊作業
4月中・下旬	広報委員会・郵送・競技会配布
5月初旬	広報委員会・6号総括

発刊内容

5号・6号(発刊部数 550部)

県内(郵送136・一般会員手渡し272・予備20)

- ①県陸協役員(73)
- ②地区体協(6)
- ③県体協・都市体協(31)
- ④県関係・スポーツ課・県高体連・警察関係その他(26)
- ⑤一般会員(272)

県外(72)※郵送

- ①日本陸連・高体連その他(9)
- ②都道府県陸協(46)
- ③新聞社・放送局・関係企業・その他(17)

※県内外配布先に合わせバナー広告企業に配布実施

2.活動予定と課題

(1)広報誌5号発刊(前期号)

- ・29年度岐阜陸上競技協会活動計画・方針
- ・アジアジュニア大会開催準備

(2)広報誌6号発刊(後期号)

- ・29年度岐阜陸上競技協会活動総括を中心
- ・アジアジュニア大会開催準備

(3)岐阜陸協HPへの広報の掲載

- (アイコンによる閲覧の実現)
- ・創刊号～4号(以後発刊号掲載)
- ・岐阜陸協ホームページでの広報誌閲覧の関係部署との連携と検討・実施

(4)秋季増刊号発刊の検討

- ・記録情報・大会報告

以上を関係委員会等と協議・連携を取り合いながら実現・実施を図っていきたいと考えます。

(委員長 木下 克己)

各地区陸協報告

岐阜地区陸上競技協会

平成29年度が始まりました。岐阜地区6市2郡の地域の活性化・競技力の向上普及を目指し、決意を新たに新役員にて出発しました。今年度、積年の願いでありました「第1回岐阜地区陸上競技選手権大会」を開催する運びとなりました。

1.平成29年度 新役員

役職	氏名
会長	小倉 新司
副会長	小森 博昭・杉山 美生・高木 豊
理事長	正村 菊雄
副理事長	久留 一博・杉山 昭彦・林田 仁・原田 憲一
総務理事	河野 康彦
会計理事	河島 正弘
理事	松浦 正泰・岡部 孝・近藤 清弘・吉村 優治 和田 全弘・田中 里枝・田中 克久・筒井 学 宮崎 豊・須川 信二・山田 仁・林 陵平 太田 和憲・川瀬 巧・宇佐見 成司・山下 和行
幹事	浦野 昇三・田中 敏弘

2.新規事業

第1回岐阜地区陸上競技選手権大会 兼 第4回岐阜地区記録会の開催

8月19日(土)に岐阜メモリアルセンター 長良川競技場において開催いたします。

本年度は第1回目ということで種目数を限って実施します。昨年の記録会をもとに種目を決定しました。参加者が昨年よりも多くなることを願っています。

新規事業、岐阜地区陸上競技選手権大会を開催できることは岐阜地区陸上競技協会として、一步踏み出したことになります。さらに各委員会を設け活動を通して岐阜陸上競技協会と協調を取りながら目標を達成したいと思います。

(理事長 正村 菊雄)

東濃地区陸上競技協会

【審判資質の向上を目指して】

東濃地区は県下でも審判員の人数が多い地区であります。この伝統は陸上競技が盛んで、優秀な選手も数多く輩出してきた東濃地区の伝統として昔から引き継がれてきました。

こうして、先輩諸氏の努力で引き継がれてきたものが近年、状況が少しずつ変わっているようです。その原因の一つは、定年制の延長である。定年制が65歳に延長され、年金支給年齢も高くなっている。さらに、定年後も嘱託やアルバイトなどで数年勤める人が多くなっています。したがって、70歳近くにならないと自分の時間がないという時代になってきました。実際、東濃地区では私たちより先輩で、80歳前後の方が現役と

して活躍してくださっている。まさに「感謝」の一言です。

もう一つの要因は、若い人たちが、自分が競技者を引退してから、お世話をした陸上競技協会に貢献するという考え方をする競技者が減少しているようにも感じます。実際、そういう自分も、かなり年齢を重ねてから審判の実務を経験し、改めてこんなに多くの役員の皆様にお世話になって競技ができたのだということを実感しています。

こうした社会の状況の変化に対応していくために、まず、若い人達の勧誘に力を入れたいと考えました。小中学生の指導者(社会人、教員)の方たちに各市の市総体や地区総体に多くの選手に競技会に参加してもらうこと、そして次に、審判を経験してもらうように働きかけていくことにしました。現役で仕事をしている若い人たちは毎回競技会への出席は無理にしても、都合がつくときに参加をして経験を積んでいってもらえたると願っています。こうして、審判員の人数確保を継続して円滑な競技会運営が今後も続けられるよう努力していきたいと考えます。

半面、表題の審判資質の向上を目指して、現在、審判員資格を持っている方たちに対しては毎年の審判員講習会に積極的に参加し、陸上競技のルール全体について理解するとともに自分が担当する審判部門のルールについて精通すること。さらに、毎年のルール改正について受講した内容を自分のものにしていくことを現職の審判員には徹底していきたいと考えます。

以上のような内容はどの地区でも取り組んでいることですが、東濃地区としては昨年度から審判講習会と合わせて救急法の講習会を実施しています。時間的には審判講習会と併せて行うので1時間ほどしか取れませんが、消防署職員による救急法講習会も真剣な眼差しで受講しています。

今年度の審判講習会を実施し、各競技会や駅伝、マラソン大会で不測の事態が発生した時に的確な対応が取れるよう万全を期していきたいと考えています。



(理事長 安藤 功二)

西濃地区陸上競技協会

1.始めに

平成29年度が始まり、新たな執行部体制のもと西濃圏域における競技力向上と選手層の底辺拡大を図り、飛躍の年とできるよう、会員一同で望む決意であります。

会長	田口 利正
副会長	山本 敏彦
副会長	松原 正則
理事長	牧野 安孝

2.事業計画

事 業	月 日	場 所
高校総体西濃地区予選	5月3~4日	浅中陸上競技場
第63回西濃陸上競技選手権	6月4日	浅中陸上競技場
西濃地区中学校陸上競技大会	6月10日	浅中陸上競技場
西濃地区小学生記録会	9月30日	浅中陸上競技場
2017いびがわマラソン	11月12日	揖斐川町公認コース
岐阜経済大学陸上記録会	3月10日	岐阜経済大学グランド
小学生陸上教室	毎月 1回開催	浅中陸上競技場

3.結び

東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、最近の各種スポーツ界を眺めると、世界で活躍する日本の選手層が若年化しているのに驚かされます。特に水泳、卓球、フィギュアスケートなどが顕著であり、陸上競技も同一視は出来ないと思いますが、やはり少年期からの基本的な練習と「陸上競技に興味を持たせることが重要」ではないかと考えられます。こうした取り組みを各種関係団体と協働しながら粘り強く推進してゆくことが私達に課された使命ではないかと痛感しています。

(理事長 牧野 安孝)

数年後には公園内でトレランやクロカンの練習がいつでも行え、ロードレース大会や駅伝大会を開催できるように計画しています。

また、本年もジュニアの育成と、審判員の増員を図りたいと各事業を計画しています。皆さんのご支援・ご協力をお願いします。

平成29年度活動計画

活動内容	月 日
高体連IH地区予選	H29年 5月3・4日
中濃大会・記録会	H29年 5月7日
中体連 地区総体	H29年 5月27日
中濃地区審判講習会	H29年 6月18日
中濃駅伝大会	H30年 2月4日
関シティマラソン大会	H30年 3月18日

そのほか各市町にてマラソン大会、駅伝大会が開催されますので、是非参加してください。

なお、昨年実施したナイター記録会、ジュニア記録会は管理棟改築により計測器等が使用できないため中止とさせていただきます。

(理事長 上野 悟一郎)

中濃地区陸上競技協会

【平成29年度中濃地区的活動計画】

本年度は中池公園陸上競技場が管理棟改修工事のため、6月以降は競技大会が開催できなくなりました。

選手の普及、強化練習はグラウンドの一部しか使用できず、高体連や中体連の皆さんをはじめ日頃練習等に使用いただいている方々には大変申し訳なく思っていますが、平成30年3月上旬に完成予定となっていますので、完成後は各競技大会や強化練習等大いに使用して下さい。

中濃地区では昨年も少し触れましたが、関インター西の県百年公園内に5kmの周回コースを新設するために関係各所に要望をして現地調査を行ったところです。



飛騨地区陸上競技協会

【平成29年度 飛騨地区陸上競技協会活動計画】

飛騨地区陸上競技協会のさらなる発展を願って

藤森会長が退任されましたが、今までの活動を引き継ぎ、さらに発展させるよう頑張らねばと思っています。

まずは原点に返って『選手がベストを出すことができるよう支援に徹する』ことを一番に心したいと思います。そのために、我々は選手がより一層頑張ることができる環境づくりに徹するとともに、選手軽視にならない円滑な競技運営を心がけたいと思っています。

二つ目は、『飛騨地区の陸上競技人口の拡大』です。飛騨地区も他の地区と同様に少子化が進んでいますが、幸い陸上のスポーツ少年団員や中学生の陸上競技部員は、他のスポーツほど減っていません。この現状に甘えることなく、質の高い指導を維持する態勢を整えたいと考えています。そのためには、飛騨地区陸上競技協会の組織強化が不可欠です。女性や中堅若手を役員に登用し、様々な提案を出してもらい、魅力ある協会にしていきたいと考えています。また、大人の陸上愛好者(特に各地の市民マラソン参加者など)を、協会としてどのように取り込んでいくか、といったことについてもこれから考えていきたいと思っています。

いずれにしても単年度で達成できるものではありませんので、役員や関係者と議論を重ねながら、できることから改善していきたいと思っているところです。

活動計画

※各競技会に向けてのプログラム編成会議(約2週間前)

月	期日	曜日	大会・競技会名	会場
5	3~4	水・木	第40回飛騨春季記録会 兼県高校総体飛騨地区予選会	中山陸上競技場
6	3~4	土・日	各地区的陸上競技大会(高山市、飛騨市、下呂市)	各地区的会場
	17	土	第46回:飛騨地区中学総体陸上競技大会	中山陸上競技場
7	9	日	第65回:飛騨地区体育大会陸上競技大会	中山陸上競技場
	9	日	第23回:飛騨地区スポーツ少年団交流会	中山陸上競技場
	15	土	第67回:飛騨地区高校総体陸上競技大会	中山陸上競技場
9	2	土	第1回:飛騨地区陸上スポーツ少年団記録会	中山陸上競技場
	2~3	土・日	第49回:飛騨選手権大会	中山陸上競技場
	23	土・祝	第3回:飛騨御嶽ハーフマラソン大会	チャオ御嶽スノーリゾート
10	1	日	第66回男子・第34回女子:飛騨地区高校駅伝競走大会	古川町森林公園
	9	月・祝	第39回:飛騨地区秋季陸上競技記録会	中山陸上競技場
	14	土	第25回:飛騨地区中学駅伝競走大会	中山陸上競技場
11	19	日	第54回:飛騨駅伝競走大会	古川町森林公園
			※各地区における駅伝競走大会、マラソン大会等	各地区的会場

この他に、年間を通して「練習会」「技術講習会」「長距離強化合宿」等が、各地区陸協・中体連・高体連が中心となって企画・実施されています。

(会長 平塚 光明)

関係団体(協力団体)

岐阜県中体連陸上競技専門委員会

【平成29年度の中体連の取り組みについて】

1.はじめに

中体連では、「全日本中学校陸上競技選手権大会」と「ジュニアオリンピック」の2つの全国大会で活躍することを大きな目標と考えて、強化選手を毎年、選考し、定期的に強化練習会や合宿を通じて、「技」「体」「心」「生活」「仲間」を大切にして取り組んでいます。

昨年度の長野全中では、過去13年の中で最少の15名の選手(全国大会参加標準記録突破)の出場に留まりました。結果については、美濃加茂西中の井戸アビゲイル風果さんが3年100mでの見事な日本一を筆頭に、「日本一1、全国大会8位以内の入賞4」の成果を残すことができました。

また、ジュニアオリンピックでは、37名の選手が出場することができました。結果は、美濃加茂西中の井戸アビゲイル風果さんが3年100mで日本一を達成しました。また、「全国大会8位以内の入賞3」を獲得することができました。

美濃加茂西中の井戸アビゲイル風果さんにおいては、全中、国体、ジュニアオリンピックの3冠(100m)を達成すると共に、400mでは日本中学新記録を達成することができました。

岐阜県中学部を3年間、引っ張ってきた選手が卒業していくことで、来年度の岐阜県中学部の強化が急務となっており、何かしらの手を打たなければいけないと考え、原田隆史さん(原田教育研究所)を招いて岐阜県中学部の今後の方針について見直しを図りました。

2.中体連の取り組みについて

(1)原田メソッドの導入

過去に中学陸上界で一世を風靡し、現在は人材育成のプロフェッショナルとして企業や公務員、教育現場、プロのスポーツ選手などの指導にあたる原田隆史氏を招いて、「岐阜県の人材確保、教育そして強化、小・中・高・大の岐阜システムの確立～岐阜で育てた選手を世界へ～」というテーマの下、新たな取り組みをスタートさせました。原田メソッドと呼ばれる「目的・目標設定用紙」「ルーティーンチェック表」「日誌」「オープンウインドウ64」をもとに、目標の明確化、メンタルトレーニングの導入、組織を再建させる原則、個人のやる気を育てるなど、原点に立ち返り、指導に当たることを重点として取り組み始めています。

(2)強化選手の育成・強化

次年度には、最低でも「全国参加標準記録を突破できる者」、もしくは「それ以上に結果を残せる者」を選考の規準として、「岐阜県強化選手」として選考しております。選ばれた選手は、強化ジャージを着ることができるだけでな

く、「強化練習会」「強化合宿」での練習を通じて、県強化スタッフによる各種目での技術指導を中心として、個のレベルアップを図っております。

また、技術面だけの指導ではなく、「全国大会」という舞台でいかに力を発揮できるかを考えたとき、「心」の面の指導を欠かすことはできません。全国大会という場においても、通常の大会と変わらず、戦えるようにメンタル面での指導も入れながら力を入れております。練習会の始めには、「心」の面の指導を必ず入れて、メンタルを鍛えています。そこで大切にしていることは、目標設定用紙に「書く」ということです。書くことで具体的な姿が見えてきて、練習にも意欲的に取り組めるようになると考えております。

3.今後の指導の重点

県強化スタッフを中心に、強化練習会や強化合宿を定期的に実施しながら取り組みを行っております。強化合宿や強化練習会の際には、原田メソッドを取り入れ、再度、目標を明確にして、その後の練習に活かせるように指導を行っています。今年度は、スーパースター不在の年となります。それでも人材育成を図りながら、全国大会において上位で活躍できる選手の育成をしていきたいと思います。

(委員長 吉田 靖)

岐阜県高体連陸上競技専門委員会

【平成29年度のスタートにあたって】

高体連の活動方針

1.挑戦し続ける、逞しい心を持った選手の育成。

2.感謝することを忘れない、謙虚な心を持った選手の育成。

この二つを大きな指導方針として、取り組んでいきたいと思います。

昨年末から今年3月末にかけての4回の強化合宿や、跳躍ブロック・投擲ブロックのブロック別練習会では、競技力の向上だけでなく競技者としての姿勢や心構えの指導を重視しました。大一番で力が発揮できる、精神的に強い選手の育成をねらいます。

全国高校総体への展望

本年度の東海高校総体は愛知県開催となります。昨年度の岐阜大会では、男子11種目・女子8種目で入賞し全国高校総体への出場権を獲得しました。今年は男女共に15種目の出場を目指したいと思います。

有力選手は、昨年度の日本ユース選手権大会男子砲丸投で優勝した山下航生君、同じく2位入賞の稻福颯君(ともに市立岐阜商業)があげられます。二人は3月に広島で行われた全国高体連強化合宿に参加し、全国の強豪選手と共に練習し高いレベルの競技者意識を身に着けてきました。全国総

体での優勝・上位入賞が期待できます。

女子では今年度から正式種目となったハンマー投の白木七星さん(市岐阜商)と走幅跳で昨年もインターハイに出場した浦野さん(済美)は、前述の全国高体連強化合宿に参 加しており、全国レベルの競技力があります。

昨年度は男子・女子ともに全国総体4×100mRで出場し、準決勝進出という結果でした。本年度は男子4×100mRにおいて、昨年の東海高校新人大会で優勝した岐阜聖徳学園高校と日本ユース選手権大会において8位の県立岐阜商業高校の2校に全国総体出場が期待できます。特に岐阜聖徳高校は、県予選において、40秒59と昨年のインターハイ15位に相当する好記録で優勝し、全国大会での入賞が大いに期待できます。

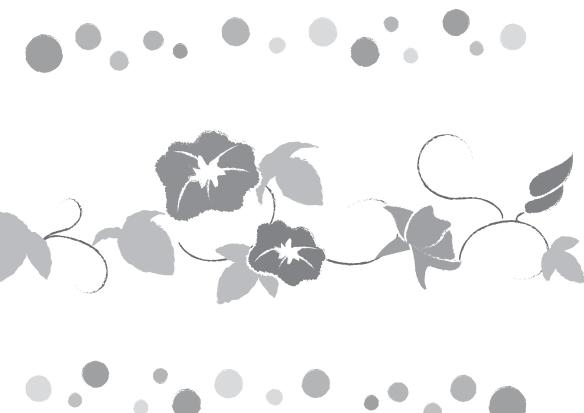
本年度、山形県天童市で行われる全国高校総体では、一昨年の入賞数男子2・女子2・合計4の成績を上回ることを目指します。(昨年は女子1)

全国高校駅伝への展望

昨年度の全国高校駅伝は、通常の男女各47チームの出場となりました。県勢は土岐商業高校女子が14位と健闘を見せました。本年度も通常の47チームの参加と思われます。(現在未定7月の全国高校駅伝実行委員会で決定する)

本年度の東海高校駅伝は三重県開催となります。男女とも東海高校駅伝で好成績を上げ、勢いに乗って全国高校駅伝では岐阜県勢として久しぶりの入賞を期待します。

(委員長 沖村 敏寛)



次号紹介

4月中旬発行予定です

編集委員

木下 克己	原 清隆	山田 緑
河野 康彦	江崎 尚	土屋 雅敏
渡邊 宗治	坂谷 幸紀	